

美術☆夏休みの課題「美術館へ行こう！」

美術館や美術展に出かけ芸術を鑑賞し、印象に残った作品の感想をまとめて、9月3日(月)に提出。
 ※9月3日はクラスごとにまとめて美術準備室前のBOXに提出してください。

★鹿児島市立美術館「ミュシャ展～運命の女たち～」→→入場受付で学校名を伝えると入場料が
 200円で鑑賞できます。通常、中学生の入場料は600円です。

※上記以外の美術館・美術展でもかまいません。

☆学芸員によるギャラリートーク：7/28,8/11,8/25(土) 14:00～15:00

☆記念ワークショップ 8月5日(日) 10:00～16:00「はじめてのリトグラフ」

☆夏休みワークショップ8月19日(日) 10:00～11:30または13:30～15:00

「(仮)花の妖精のすみかをつくろう!～ミュシャ風塗り絵とオブジェ～」

※各ワークショップは、事前の申込み及び材料費が必要です。興味と日程があったら参加してみましよう。
 詳しくは美術館ホームページで確認してください。

	2年	組	番	行った日	8月 26日(日)
氏名				美術館・ 美術展名	鹿児島市立美術館・ミュシャ展

作品名	ポスター「ヒヤシンス姫」	作者名	アルフォンス・ミュシャ
感じたこと			
劇のポスターとして書かれたので、劇中のことが背景にかかれています。すごいと思った。また、ミュシャは、ポスターを多く描いていたが、多くの作品に女性が描かれていて、ポスターの描き方や雰囲気がガラッと変わっていて、中でもこの作品の細かな背景や明るいタッチがとても好きだ。髪の毛や指先がとてもリアルで、写真の様な作品だと思う。			

作品名	デザイン画「J(ユリカ、ミュシャの初恋の人)」	作者名	アルフォンス・ミュシャ
感じたこと			
「初恋の人」を人物画ではなく、花を組み合わせたデザイン画として描いていることにおどろいた。また、使われている色がとても少なく、構図もシンプルな所が、その人を想う純粋な心が表現されているのかなと思った。背景にピコッと青い線が入っているのが、どうしてなのがとても不思議に思った。他の作品と少し違うイメージが新しくいいと思った。			

作品名	連作装飾パネル「四つの花	作者名	アルフォンス・ミュシャ
感じたこと			
～アイリス・バラ・ユリ・カーネーション～			
アイリスは、しなやかで落ち着いたイメージ、バラは力強いイメージ、ユリは清楚なイメージ、カーネーションは母性のあるたくましいイメージという4つの女性のイメージを花で表現するのがとてもおもしろいと思った。また、髪や表情、ポーズからもその女性の花のイメージが表現されていて、すごく納得した。自分自身がどんなイメージなのか知りたくなった。			

※鑑賞レポートは、2学期の評価材料となります。